

試合番号 : 333	試合会場 : 小真木原総合体育館	観客数 : 1,881		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:41	試合時間 : 01:41		
主審 : 菅原 潤	副審 : 増岡 三佳子			
ブレストージ・インターナショナルアラシマーレ	通算 0勝 6敗 ポイント: 0	18 第1セット 25	NECレッドロケッツ	通算 4勝 2敗 ポイント: 12
<b>監督コメント</b> まずは、この満員の会場で試合が出来たことをうれしく思います。第1セットは相手のコンプレックスに翻弄されて、セットを取られてしまいました。第2セット、相手にセットはしはじめ、どんどん追い込んでいきましたが、あと1歩でセットを取り切れませんでした。第3セット、さらに相手にアジャストして戦いましたが、あと1点取り切る事が出来ず、敗戦となりました。次戦に向けて切りかえて戦っていきたく思いますので、引き続きご声援よろしくお願ひします。	<b>要約レポート</b> ホームゲーム2日目で初勝利を上げたいブレストージ・インターナショナルアラシマーレと、連敗を避けたNECレッドロケッツの一戦。第1セット、序盤は互角の戦いを展開する。中盤に差し掛かるところで、NECが廣田の連続サーブサービスエースを含む6連続得点を上げ一気にリードを広げる。アラシマーレはメソマチや途中出場の小野山の攻撃で追いつけるが、NECがこのセットを奪う。第2セットは激しく点数が動く展開から始まる。NECが山田の連続ブロック等でスタートから大きくリードするも、アラシマーレは伊藤のサーブで相手を崩し、そこからの切り返しで一気に追いつく。お互いに連続得点を上げては追いつく展開を繰り返したが、中盤以降は1点を取り合う展開に。お互い1歩も譲らないまま最終盤を迎えたが、最後はNECが高さを見せつけ、このセットも奪った。第3セット、長いラリーが何回も繰り広げられる白熱した攻防で、会場内の盛り上がりは最高潮を迎える。第2セット終盤と同様、お互い一進一退の攻防が繰り広げられデュースにまでもつれ込んだが、最後はNECドルーズのブロックが決まり、NECがストレートで大熱戦に終止符を打った。	23 第2セット 25	<b>監督コメント</b> アラシマーレさんの素晴らしい雰囲気ホームゲームの中での試合でしたが、最後まで自分たちに雰囲気を作り戦いかけたことが良かったです。サーブの効果が非常に高く、相手のファーストボールサイドアウトを抑えることができましたが、まだまだ決め切る場面で得点を取り切れなかった部分もあったので、今週の課題を消化して次戦に臨みたいと思います。アウェーゲームでしたが、たくさんの応援をありがとうございました。次戦も熱い応援をよろしくお願ひします。	
		24 第3セット 26		3
		第4セット		
		第5セット		

試合番号 : 334	試合会場 : 小真木原総合体育館	観客数 : 1,881		
開始時間 : 15:30	終了時間 : 16:56	試合時間 : 01:26		
主審 : 伊藤 薫	副審 : 桑原 健輔			
久光スプリングス	通算 7勝 1敗 ポイント: 21	25 第1セット 17	デンソーエアリービーズ	通算 2勝 4敗 ポイント: 7
<b>監督コメント</b> 昨日に引き続き、スタートから自分たちのラリーをしていこうとミーティングからしっかり準備しました。サーブが効果的に打てていて、ラリーの中で自分たちのオフェンスも機能していました。デンソーの粘りあるディフェンスに対して、こちらも粘り負けなかったのはすごく良かったです。秋田大会から山形大会と2週間の東北での試合、たくさんの応援ありがとうございました。	<b>要約レポート</b> 前日勝利し勢いにのる久光スプリングスとデンソーエアリービーズの対戦。第1セット、序盤は好レーブから中島、アダムのスパイクでリードを広げる。中盤以降も久光が主導権を握り、速い攻撃展開とブロックポイントでこのセットを勝ち取る。第2セット、デンソーは序盤にロザマリア、中元の攻撃でリードするが、久光は固い守備から中島、長岡、アダムにボールを集め逆転に成功。デンソーはロザマリア、中元を中心に巻き返しを図ろうとするが久光は長岡、大竹の攻撃で一気に突き放しセットを連取る。第3セット、久光はアダムを中心にスパイク、ブロックでリードを広げ、その後もデンソーをサーブで崩し得点を重ねていく。デンソーはメンバーチェンジで流れを変えようとするが最後まで久光のリズムは崩れず、久光はこの試合に勝利した。	25 第2セット 17	<b>監督コメント</b> 今日は昨日の勢いそのままに連勝を目指し試合に臨みました。試合序盤から相手の固いディフェンスを崩すことが出来ず、受け身になる展開になりました。持ち味であるディフェンスで相手の攻撃を防ぐ場面も多く作りましたが、得点機会をものに出来なかったことが敗因だと思います。次の試合は、1週空けて札幌でのホームゲームとなります。今一度チームを強化し勝利を掴み取るよう準備していきます。本日もたくさんの応援ありがとうございました。	
		25 第3セット 12		0
		第4セット		
		第5セット		

試合番号 : 335	試合会場 : おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)	観客数 : 2,136		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:01	試合時間 : 02:01		
主審 : 佐々木 伸子	副審 : 吉岡 奈々			
JTマーヴェラス	通算 8勝 0敗 ポイント: 23	22 第1セット 25	PFUブルーキャッツ	通算 2勝 4敗 ポイント: 6
<b>監督コメント</b> 2日間のホームゲーム、たくさんの応援ありがとうございました。昨日の修正点をしっかりと整理して、本日のゲームに臨みました。ゲームのスタートは中々リズムにのれず苦しい展開でしたが、第2セット目以降は相手のサイドアタッカーに対してブロック、ディフェンスの関係を確立して戦うことができました。ホームゲームで2連勝できたことは良かったです。この2日間の戦いは修正点も多く見えました。次戦は1週空いたホームゲームになります。応援して下さる皆様ワクワクするような試合が展開できるように全員で準備していきたいと思ひます。引き続き、熱い応援よろしくお願ひします。	<b>要約レポート</b> 開幕7連勝で首位を走るJTマーヴェラスが9位のPFUブルーキャッツを迎えてのホームゲーム。第1セット、JTがサンティアゴのブロックやアタックで5-2とリードした。しかし、PFUはサンタナのサービスエースや志摩のアタックなどで連続得点を取って食ひ下がり、21-21と同点に追いついた。ここからPFUは志摩のブロックやサンタナのサービスエースで一気にリードを広げ、このセットを先取した。第2セット、JTは田中のアタックやサンティアゴのブロックなどで優勢にゲームを進めた。PFUはサンタナ、志摩のアタックなどで食ひ下がり、細沼のブロックやジャンのアタックで23-20とリードした。しかし、ここからJTはドルーズのサーブで相手の守りを崩し、5連続得点でセットを取り返した。第3セットはJTがドルーズのアタックやサンティアゴのブロックで序盤に大きくリードし、そのままセットを取ると、迎えた第4セット、PFUの志摩、サンタナ、ジャンとJTの西川、ドルーズ、田中のアタックで両チームが得点を取り合い、中盤まで競り合った。ここからJTはリベロ西崎のレーブや田中のサービスエースでリードを奪うと、さらに田中のアタックやブロックでPFUを突き放して勝利し、連勝を8に伸ばした。	25 第2セット 23	<b>監督コメント</b> 第1セットは相手の強力なディフェンスを防いでこちらが得点を重ねることができ、セットを先取したが第2セット目以降はJTマーヴェラスのサーブからのディフェンスに苦しめられ、得点を奪えなかった。今日の試合で勝利を収めたかったが、劣勢となってしまいとても残念です。昨日、今日と沢山の応援ありがとうございました。次の試合に向けて課題を克服し、頑張ります。	
		25 第3セット 16		1
		25 第4セット 22		
		第5セット		

試合番号 : 336	試合会場 : おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)	観客数 : 2,136		
開始時間 : 15:50	終了時間 : 18:06	試合時間 : 02:16		
主審 : 長崎 有紗	副審 : 種元 桂子			
トヨタ車体クインシーズ	通算 4勝 4敗 ポイント: 12	25 第1セット 23	KUROBEアクアフェアリーズ	通算 1勝 5敗 ポイント: 4
<b>監督コメント</b> フルセットの末、悔しい敗戦となった。セベジオール選手への対応が悪く、相手に勢いを与えてしまった。本日のゲームではサーブも中々機能せず、逆にサーブレブで崩され苦しいゲームではあった。しかし、劣勢の中でも選手は良く戦った。この悔しさを1週空か、修正し次戦に繋げたい。本日もたくさんの応援ありがとうございました。	<b>要約レポート</b> これまで4勝3敗と白星が先行しているトヨタ車体クインシーズと、未だ勝ち星のないKUROBEアクアフェアリーズの一戦。第1セット、KUROBEはセベジオールにボールを集め順調に得点を重ねる。対するトヨタ車体もファンハッケのアタックなどで反撃、20点で相手に並び最後は大川のレフトからのアタックが決まりこのセットを先取る。第2セット、KUROBEは佐藤(黎)のブロード攻撃、住田のサービスエースなどが決まり6点リードでテクニカルタイムアウトを迎える。中盤以降トヨタ車体は大川の攻撃、ファンハッケのサービスエースなどで粘りを見せるが、最後はKUROBE佐藤(黎)のサーブが決まりこのセットを取り返す。第3セット、KUROBEセベジオール、トヨタ車体ファンハッケの打ち合いで試合が進む。セット中盤KUROBEは佐藤(黎)のサービスエースなどで6連続得点をあげ、さらに佐藤(黎)のトスワークも冴え、高橋のアタック、佐藤(黎)のクイックが効果的に決まり連続でセットを奪う。第4セット、両チーム一歩も譲らず中盤まで一進一退の攻防を繰り返す。ここで抜け出したのはトヨタ車体、鶴原のアタック、ハツマヤのクイック攻撃が決まり、最後は長野のクイックでセットカウントを2-2とする。一歩リードしたのはKUROBE、コラムやセベジオールのアタックで連続得点を奪うと、相手のミスにも助けられ終始リードを保ち最後はコラムのアタックが決まり、今季初勝利をあげた。最終第5セット、一歩リードしたのはKUROBE、コラムやセベジオールのアタックで連続得点を奪うと、相手のミスにも助けられ終始リードを保ち最後はコラムのアタックが決まり、今季初勝利をあげた。	17 第2セット 25	<b>監督コメント</b> まずは今季1勝目をあげることができて非常に嬉しく思う。相手チームのサーブに苦しめられ耐える状況もあったが、各々が今やるべきことを認識しプレーすることができた。引き続き、チーム力の向上を目指し、全員で戦っていききたい。昨日に続き、本日もたくさんの応援ありがとうございました。	
		12 第3セット 25		3
		25 第4セット 21		
		13 第5セット 15		